

令和6年度 宮崎県生徒指導連絡協議会

第18回研究発表大会 延岡地区大会

研究紀要

児童・生徒が社会の中で

自分らしく生きることができるための

生徒指導はどうあればよいか



主催 宮崎県生徒指導連絡協議会

延岡地区教育研究会生徒指導部会

共催 延岡市教育委員会

後援 宮崎県教育委員会 宮崎県 PTA 連合会

公益社団法人 宮崎県青少年育成県民会議

あ い さ つ

宮崎県生徒指導連絡協議会

会 長 湯 地 健 一 郎

令和6年度宮崎県生徒指導連絡協議会第18回研究発表大会延岡地区大会を開催するにあたり、県内各地から多くの先生方にご参加いただき御礼申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙上発表とし、令和4年度は都城地区で4年ぶりに先生方をお迎えして開催しました。本年度も延岡地区におきまして、本大会での発表等が、参加された先生方のみならず、各学校での指導に少しでも寄与できることを祈念しております。

さて、学校における生徒指導上の諸課題は、社会の構造や教育を取り巻く環境の変化により、一層複雑化しています。中でも、インターネットを介した様々な問題は、今や学校だけでの問題ではありません。また、従来からの大きな課題であるいじめや不登校に関しては、個々のケースに対してよりきめ細かな対応が求められています。加えて、児童虐待やヤングケアラーのように、関係機関との連携が不可欠な事案においては、ことさら組織的な対応が必要ですし、校則等、社会を反映した様々な課題も抱えています。この難しい課題に対して、学校は、児童・生徒の健全育成を目指して、人としての関わりを大切に、努力を続けてきました。

そのような中、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が、令和3年1月に答申をまとめました。さらにその翌年、私たちが長年、生徒指導のバイブルとしてきた「生徒指導提要」が12年ぶりに改訂され、内容が学校を取り巻く社会の変化に即して再整理されました。まさに、日々、児童・生徒を指導し支援している私たちは、生徒指導について『令和型』を進めていかなければならないとともに、一方で、今一度原点に立ち返り、「人間教育」としての生徒指導の充実に努めていきたいと考えています。

本大会は、「児童・生徒が社会の中で自分らしく生きることができるための生徒指導はどうあればよいか」を研究主題に掲げ、「豊かな人間関係を育むため」「自発的・主体的な成長を支えるため」「デジタル・シティズンシップを育むため」「地域・家庭・関係機関との連携」の4つのテーマについて、各地区で取り組まれた研究実践の成果を発表していただきます。各分科会では積極的に御協議いただき、各地区及び各学校における生徒指導に生かしていただく一助となることを期待しております。

最後になりましたが、本研究発表大会の開催にあたり、これまで御指導・御助言をいただきました県教育委員会、延岡市教育委員会をはじめ各市町村教育委員会、並びに関係機関・団体の各位に心から御礼を申し上げますとともに、引き続き格段の御支援を賜りますようお願いいたします。併せて、本大会の準備・運営にご尽力いただきました延岡地区生徒指導連絡協議会の方々に心から感謝申し上げ、開会のあいさつといたします。

〔宮崎県生徒指導連絡協議会役員〕（教育研究会生徒指導部）

会 長	宮崎市立	青島中学校	湯地 健一郎
副 会 長	国富町立	八代中学校	窪田 雅文
副 会 長	宮崎市立	木花小学校	平山 十四郎
開催地区会長	延岡市立	岡富中学校	三樹 浩二
次回開催地区会長	日向市立	財光寺中学校	藤井 寛史
理 事 長	宮崎市立	広瀬中学校	吉田 智
副 理 事 長	宮崎市立	久峰中学校	佐藤 友春
副 理 事 長	宮崎市立	東大宮小学校	児玉 明拓
会 計	宮崎市立	青島中学校	日高 智則

〔延岡地区大会運営委員会〕

会 長	延岡市立	岡富中学校	三樹 浩二
副 会 長	延岡市立	緑ヶ丘小学校	衛藤 慎二
理 事 長	延岡市立	南方小学校	下り藤 雅也
事務局 長	延岡市立	延岡中学校	新玉 宏司
○ 総務部			
部 長	延岡市立	南方小学校	下り藤 雅也
副 部 長	延岡市立	延岡中学校	新玉 宏司
会 計	延岡市立	東海小学校	小田 愛
○ 研究部			
部 長	延岡市立	恒富中学校	岩切 清和
副 部 長	延岡市立	東小学校	川崎 愛
○ 運営部			
部 長	延岡市立	岡富中学校	矢野 寛和
副 部 長	延岡市立	上南方小学校	島田 友輝

〔延岡地区大会実行委員会〕

延岡市立	岡富小学校	山下	夏美	延岡市立	旭小学校	長谷	寛子
延岡市立	恒富小学校	広瀬	道子	延岡市立	西小学校	星原	智行
延岡市立	南小学校	横山	剛史	延岡市立	緑ヶ丘小学校	甲斐	朋美
延岡市立	方財小学校	佐藤	洋之	延岡市立	川島小学校	後藤	洋樹
延岡市立	港小学校	城後	律子	延岡市立	黒岩小学校	渡邊	由衣
延岡市立	土々呂小学校	大石	達也	延岡市立	名水小学校	宮園	真弓
延岡市立	熊野江小学校	伊吹	早野香	延岡市立	浦城小学校	湯浅	泰晃
延岡市立	一ヶ岡小学校	池田	薫	延岡市立	伊形小学校	西久保	真弥
延岡市立	東海東小学校	栗栖	健汰	延岡市立	北方学園小学校	園田	美保
延岡市立	北浦小学校	高岡	宣喜	延岡市立	三川内小学校	済陽	陽子
延岡市立	北川小学校	渡部	陽将	延岡市立	延岡小学校	松岡	達也
延岡市立	西階中学校	徳渕	喬	延岡市立	旭中学校	梶原	玲爾
延岡市立	東海中学校	佐藤	良衛	延岡市立	土々呂中学校	宮崎	卓也
延岡市立	黒岩中学校	陸丸	弘樹	延岡市立	南方中学校	柳田	安子
延岡市立	南浦中学校	平岡	千晶	延岡市立	北方学園中学校	山本	恵子
延岡市立	北浦中学校	酒井	豊	延岡市立	三川内中学校	富永	智彦
延岡市立	北川中学校	原田	卓弥	延岡市立	島野浦学園	佐藤	美幸
延岡市立	南中学校	甲斐	裕一				

目 次

1 あいさつ

- 宮崎県生徒指導連絡協議会 会長 湯地 健一郎

2 大会役員

3 令和6年度宮崎県生徒指導連絡協議会第18回研究発表大会延岡地区大会開催要項・・・1

4 記念講演・・2

演 題 『救えたはずの命から託された願い～出逢いで未来が変わる・変えられる～』

講 師 安永 智美 氏 (スクールカウンセラー・公認心理師 保護司)

5 分科会

- (1) 第1分科会『豊かな人間関係を育むための生徒指導はどうあればよいか。』

宮崎市立瓜生野小学校 教諭 外山 弥枝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

宮崎市立住吉南小学校 教諭 児玉 佳輔・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

えびの市立上江中学校 教諭 山元 秀太・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

- (2) 第2分科会『自発的・主体的な成長を支えるための生徒指導はどうあればよいか。』

都城市立明和小学校 教諭 野村 真紀・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

延岡市立旭中学校 教諭 梶原 玲爾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

- (3) 第3分科会『デジタル・シティズンシップを育むための生徒指導はどうあればよいか。』

串間市立本城小学校 教諭 岩村 かおり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

西都市立妻中学校 教諭 島埜内 樹・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

- (4) 第4分科会『学校・地域・家庭・関係機関が連携した生徒指導はどうあればよいか。』

延岡市立延岡小学校 教諭 松岡 達也・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

日之影町立日之影中学校 教諭 甲斐 一成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

6 宮崎県生徒指導連絡協議会・会則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64

令和6年度 宮崎県生徒指導連絡協議会 第18回研究発表大会 延岡地区大会開催要項

宮崎県生徒指導連絡協議会（宮崎県教育研究会生徒指導部会）は、県内各地区生徒指導連絡協議会を基盤として、本県の小・中学生の健全育成に取り組んできました。その結果、児童生徒の諸問題に対する各学校における対応力はかなり備わってきていると思われます。

しかしながら、非行等問題行動の低年齢化、スマホ等の普及による交遊（または交流）の広域化、声かけ事案や不審者による事件等、児童生徒を取り巻く環境は厳しいものがあり、憂慮すべき事象があとを絶ちません。

そこで、これらの生徒指導上の諸問題について、各地区で研究を重ねた成果や実践内容を共に学び、児童生徒の健全育成を目指して、第18回研究発表大会 延岡地区大会を下記の要領にて開催する運びとなりました。

つきましては、これからの生徒指導の在り方について共に考えてまいりたいと思います。関係各位の積極的なご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

1 大会主題 「児童・生徒が社会の中で自分らしく生きることができるための生徒指導はどうあればよいか」

2 期 日 令和6年11月22日（金）

3 会 場 延岡市社会教育センター <第1～4分科会>
カルチャープラザのべおか <全体会>
〒882-0812 延岡市本小路39-1 TEL 0982-34-6549

4 主 催 宮崎県生徒指導連絡協議会
延岡地区教育研究会生徒指導部会

5 共 催 延岡市教育委員会

6 後 援 宮崎県教育委員会 宮崎県PTA連合会 公益社団法人 宮崎県青少年育成県民会議

7 日 程

時間	9:30 }	10:00 }	10:45 }	12:30 }	13:30 }	15:00 }
	10:00	10:30	12:30	13:30	15:00	15:15
内容	受 付	開 会 行 事	発表 40分 休憩 10分 協議 45分 指導助言 10分	昼食 ・ 休憩	記 念 講 演	閉 会 行 事

8 開会行事（10:00～10:30）

(1) 開会のことば

(2) あいさつ

宮崎県生徒指導連絡協議会会長

延岡市教育委員会教育長

(3) 指導助言者紹介

(4) 諸連絡

(5) 閉会のことば

分科会	テーマ	地区	発表者	司会者	指導助言者
第1分科会	豊かな人間関係を育むための生徒指導はどうあればよいか	宮東	宮崎市立 瓜生野小学校 教諭 外山弥枝	延岡市立 南方中学校 教頭 山本延久	県人権同和 教育課 指導主事 池田晋一
			宮崎市立 住吉南小学校 教諭 児玉佳輔		
		西諸	えびの市立 上江中学校 教諭 山元秀太		
第2分科会	自発的・主体的な成長を支えるための生徒指導はどうあればよいか	都北	都城市立 明和小学校 教諭 野村真紀	延岡市立 三川内中学校 教頭 黒田雄三	北部教育事務所 指導主事 福島由太郎
		延岡	延岡市立 旭中学校 教諭 梶原玲爾		
第3分科会	デジタル・シティズンシップを育むための生徒指導はどうあればよいか	串間	串間市立 本城小学校 教諭 岩村かおり	延岡市立 南方小学校 教頭 神井英樹	中部教育事務所 指導主事 馬原祐介
		西都	西都市立 妻中中学校 教諭 島埜内樹		
第4分科会	地域・家庭・関係機関と連携した生徒指導はどうあればよいか	延岡	延岡市立 延岡小学校 教諭 松岡達也	延岡市立 延岡小学校 教頭 深田陽一郎	延岡市 教育委員会 指導主事 安保隆昭
		西臼杵	日之影町立 日之影中学校 教諭 甲斐一成		

10 記念講演 (13:30~15:00)

<p>演題 『救えたはずの命から託された願い～出逢いで未来が変わる・変えられる～』</p> <p>講師 安永 智美 氏 (スクールカウンセラー・公認心理師 保護司)</p> <p>元福岡県警察少年サポートセンター</p> <p>子どもを守るサポレンジャー 新・レッド隊長)</p>
--

11 閉会行事 (15:00~15:15)

<p>(1) 開会のことば</p> <p>(2) 大会開催地区会長あいさつ</p> <p>(3) 次回大会開催地区代表会長あいさつ</p> <p>(4) 閉会のことば</p>	<p>延岡地区教育研究会生徒指導部会会長</p> <p>日向地区教育研究会生徒指導部会会長</p>
---	---

講師プロフィール



スクールカウンセラー・公認心理師

保護司

元福岡県警察少年サポートセンター

子どもを守るサポレンジャー 新・レッド隊長

やす なが さと み
安 永 智 美

1963年福岡県北九州市生まれ。

子どもの命・未来を守るためのアウトリーチ支援を主眼としたスクールカウンセラー、保護司、全国での講演活動等を行っている。これまで担当した少年少女からは、子どもを守るサポレンジャーの「レッド隊長」の名前で親しまれ、子どもたちのよき相談者として心の声を聴き、支援活動を行ってきた。

○ 職 歴

1984年から12年間福岡県警察官として勤務。1996年に少年非行やいじめ、家庭内暴力など様々な少年問題に対応する少年育成指導官に転身し、少年サポートセンターにおいて、「子どもを守るサポレンジャー・レッド隊長」としての勤務を経て、2024年4月からスクールカウンセラー、保護司、講演や研修会の講師として活動。

○ 社会における活動

独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 研究開発プロジェクト「子どもを犯罪から守るための多機関連携モデルの提唱」（研究代表者：石川正興早稲田大学法学学術院教授・社会安全政策研究所所長）の研究協力員として活動し、同プロジェクト推進に努めた。

法務省国連アジア極東犯罪防止研究所主催の「国際研修会」において、海外28カ国の司法機関関係者に対して、「子どもたちを犯罪の被害者にも加害者にもしないための多機関連携」をテーマに講義し、子どもを非行から守る福岡の取り組みについて、海外に向けて情報発信を行った。

○ 著 書

「内外教育」時事通信社・・・ 全国教育関係対象の教育冊子連載中 (R1, 10～)

「言葉ひとつで子どもは変わる！」PHP 研究所・・・ 同本は H24 警察庁少年課による優良指定図書

※ 同書は完売したため、現在電子書籍化されました。

同書の内容は、未来を担う大切な子どもたちを犯罪の被害者にも加害者にもしないために、少年サポートセンターで会う子どもたちの「問題行動の根っこ」をリアルに伝え、家庭や学校、地域の関わりについて、大切なメッセージを発信している。

主な講演実績について

○ 警察関係

- ・ 警察大学校特別捜査研究所幹部研修専科
- ・ 警察大学校少年警察専科教養
- ・ 警察庁少年課主催 全国カウンセリング研修会
- ・ 九州管区警察学校各任用科教養
- ・ 九州管区警察局主催 警察職員・教育・福祉機関等合同研修会
- ・ 東北管区警察局主催 東北地区少年補導員・補導職員等研修会
- ・ 中部管区警察局主催 警察職員・教育・福祉機関合同研修会
- ・ 近畿管区警察局主催 同上
- ・ 関東管区警察局主催 同上
- ・ 中国四国管区警察局主催 同上
- ・ 全国都道府県警察関係研修会

○ 司法機関

- ・ 法務省国連アジア極東犯罪防止研究所主催「国際研修会」講演
- ・ 福岡県検察庁検事研修会
- ・ 同 家庭裁判所調査官研修会
- ・ 同 保護観察官対象研修会

○ 医学会

- ・ 日本児童虐待防止医学会研修大会 全国小児科医・検察・警察・児相職員対象
- ・ 同医学会研修各県 函館、札幌、富山、群馬、西日本大会(兵庫)

○ 教育・福祉関係機関研修

- ・ 全国各県

○ 横浜市市会議員常任委員会青少年部会講演

メディア出演関係

- 新聞各社全紙
- ラジオ
- テレビ全局

代表例 NHK クローズアップ現代(H27)

目撃者 f (30分番組)

おはよう日本 NHK

執筆関係

- 「クリム」主に子育て中の母親を対象とした広報誌
- 「そだちの科学」福祉や教育等の専門機関を対象とした専門誌
- 「更生保護」日本更生保護協会発行・保護司を対象とした広報誌
- 「少年の特性を理解するために」少年警察関係執務資料
- 「BAN」警察対象情報発信マガジン
- 「言葉一つで子どもは変わる」PHP 研究所・現在電子書籍化
- 「内外教育」連載・時事通信社
- 「女性自身・人間シリーズ」
- 警察学論集
- 犯罪被害者白書
- 社会安全・警察学冊子

令和6年度 宮崎県生徒指導連絡協議会

会長・副会長・理事長・副理事長・各地区理事長

No.	地区	教育事務所	市町村	名 称	役 職	氏 名	所属校	電話番号
1	宮崎	中部	宮崎市	宮崎県生徒指導 連絡協議会 事務局	会 長	湯地 健一郎	青島中学校	0985(65)1248
2			宮崎市		理 事 長	吉 田 智	広瀬中学校	0985(73)1818
3			宮崎市		会 計	日高 智則	青島中学校	0985(65)1248
4			国富町		副 会 長	窪田 雅文	八代中学校	0985(75)2558
5			宮崎市		副 会 長	平山 十四郎	木花小学校	0985(58)0007
6			宮崎市		副理事長	佐藤 友春	久峰中学校	0985(73)1188
7			宮崎市		副理事長	児玉 明拓	東大宮小学校	0985(28)5252
8	宮崎	中部	宮崎市	宮東地区生徒指 導連絡協議会	理 事 長	壹岐 孝平	田野中学校	0985(86)1200
9	日南	中部	日南市	日南市小・中学 校生徒指導 連絡協議会	会 長	石原 秀敏	榎原中学校	0987(68)1004
10					理 事 長	重村 智博	吾田中学校	0987(23)1139
11	串間	中部	串間市	串間市生徒指導部会	会 長	大田原千佳	大東小学校	0987(74)1058
12					理 事 長	村本 知香		
13	都城	南部	都城市	都城地区生徒指 導連絡協議会	会 長	深江 祐史	妻ヶ丘中学校	0986(22)0283
14					理 事 長	内村 翔	沖水中学校	0986(38)1335
15	西諸県	南部	小林市	西諸県地区教育研究会 生徒指導部会	会 長	原田 康德	東方中学校	0984(23)3613
16					理 事 長	原口 愛未		
17	西都	中部	西都市	西都市生徒指導部会	会 長	伊東 泰彦	妻中学校	0983(43)3219
18					理 事 長	島埜内 樹		
19	児湯	中部	川南町	東児湯小中学校 生徒指導 連絡協議会	会 長	日高 亘	唐瀬原中学校	0983(27)0044
20					理 事 長	本田 優日		
21	延岡	北部	延岡市	延岡市学校教育研修所 (生徒指導部会)	会 長	三樹 浩二	岡富中学校	0982(21)6494
22					理 事 長	矢野 寛和		
23	日向	北部	日向市	日向地区公立中学校 生徒指導連絡協議会	会 長	藤井 寛史	財光寺中学校	0982(54)0850
24					理 事 長	近藤 美里		
25	西臼杵	北部	高千穂町	西臼杵郡生徒指導 推進協議会	会 長	金丸 智弘	高千穂中学校	0982(72)4121
26					理 事 長	須藤 茂史		

宮崎県生徒指導連絡協議会会則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 この会は宮崎県生徒指導連絡協議会（教育研究会生徒指導部）と称する。
- 第 2 条 この会は宮崎県各市郡地区の小・中学校生徒指導連絡協議会をもって組織する。
- 第 3 条 この会の事務局は会長が会務を処理するのに適当な学校におく。
- 第 4 条 この会は宮崎県各市郡地区の生徒指導活動を基盤とし、その活動を推進強化し、児童生徒の安全と健全育成を図ることを目的とする。
- 第 5 条 この会は前条の目的を達成するために次の活動を行う。
- ① 生徒指導に関する共同研究ならびに各種情報・資料の交換
 - ② 具体的な生徒指導対策の研究・実践
 - ③ 教育委員会、ならびに生徒指導に関係ある諸団体との連絡提携
 - ④ その他、目的達成に必要な事業

第 2 章 機 関

- 第 6 条 この会に次の機関をおく。
- 1 役員会 2 評議員会 3 理事会
- 第 7 条 役員会は会長・副会長・理事長・副理事長・書記会計で構成し第 6 条の会の企画にあたる。
- 第 8 条 評議員会は各市郡地区の会長・理事長をもって組織し、次の事項を決議する。
- ① 規約の決定ならびに変更
 - ② 予算および決算
 - ③ 役員選出
 - ④ その他この会の目的達成上の重要な事項
- 第 9 条 理事会は本部役員、各市郡地区の理事長をもって組織し、評議員会の決議事項を執行する。

第 3 章 役 員

第 10 条 この会に次の役員をおく。

会 長 1 名 副会長 2 名 理事長 1 名 副理事長 2 名
書記会計 1 名 監 事 2 名 顧 問 若干名

第 11 条 正副会長は評議員会で選出する。会長はこの会を代表し、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは代行する。

第 12 条 理事長・副理事長は評議員会で選出し、この会の業務を処理する。

第 13 条 書記・会計は会長が委嘱し、監事・顧問は評議員会で選出する。監事は会計の監査にあたり、顧問は会の運営を援助する。

第 14 条 役員任期は 1 年とする。但し、再任はさまたげない。

第 4 章 会 議

第 15 条 会議は役員会・評議員会・理事会とする。

第 16 条 役員会は、必要に応じて会長が招集する。

第 17 条 評議員会は年 2 回以上開催する。会は、半数以上の出席により成立し、出席者の過半数の賛同を得て決定する。

第 18 条 理事会は、必要に応じて会長が招集する。

第 5 章 会 計

第 19 条 この会の会費は補助金・その他をもってあてる。

第 20 条 会計年度は 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 3 1 日で終わる。

第 6 章 附 則

第 21 条 この規約は平成元年 4 月 1 日より施行する。

第 22 条 この規約は令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

アンケートについて

本会に係るアンケートへの回答の御協力をお願いします。以下の URL または、二次元コードを読み取って、入力していただきますようお願いします。

<https://forms.gle/7fTnLpjuX4BwFBYX6>

二次元コード



御協力ありがとうございます。